

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

# Amazon Keyspaces サービスレベルアグリーメント

最終更新：2023年5月24日

本 Amazon Keyspaces (Apache Cassandra 向け) サービスレベルアグリーメント (「SLA」) は、Amazon Keyspaces (Apache Cassandra 向け) (「Keyspaces」) の利用を規定する方針であり、Keyspaces を利用する各アカウントに個別に適用される。本 SLA の契約条件と、[AWS カスタマーアグリーメント](#) または利用者による本サービスの利用に適用される当社と利用者との間の他の契約 (「本件契約」) の契約条件の間に齟齬がある場合は、かかる齟齬の範囲に関してのみ、本 SLA の契約条件が適用される。本 SLA において使用する用語 (英文では大文字で始まるもの) のうち、本 SLA で定義されていないものは、本件契約で定められた意味を有するものとする。

## サービスコミットメント

AWS は、Keyspaces を、月次請求期間において、各 AWS リージョンで、(a) マルチリージョンレプリケーション SLA が適用される場合は 99.999% 以上、(b) 標準 SLA が適用される場合は 99.99% 以上の月間稼働率で利用可能にするため、商業上合理的な努力を行う (「サービスコミットメント」)。Keyspaces がサービスコミットメントを満たさない場合、利用者は以下のとおりサービスクレジットを受け取ることができる。

## サービスクレジット

サービスクレジットは、以下の表に従って、サービスコミットメントが満たされなかった月次請求期間について、影響を受けた AWS リージョンにおける Keyspaces に対し利用者が支払った料金総額の定率として計算される。

	月間稼働率	サービスクレジット率
マルチリージョンレプリケーション SLA	99.0% 以上、99.999% 未満	10%
	95.0% 以上、99.0% 未満	25%
	95.0% 未満	100%
標準 SLA	99.0% 以上、99.99% 未満	10%
	95.0% 以上、99.0% 未満	25%
	95.0% 未満	100%

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

サービスクレジットは、**Keyspaces** について今後請求される支払いに対してのみ適用できる。当社はその裁量において、利用不可状態が発生した請求期間の支払いの際に利用者が使用したクレジットカードに対して、サービスクレジットを発行することができる。サービスクレジットは、利用者に対し、**AWS** から返金その他の支払いを受ける権利を与えるものではない。サービスクレジットは、該当する月次請求期間の当該クレジット金額が 1 米ドル (\$1 USD) を超える場合のみ適用され、発行される。サービスクレジットは譲渡できず、また他のアカウントに充当することはできない。本件契約に別段の規定がない限り、**Keyspaces** の提供において、当社による利用不可状態、パフォーマンスの不実行、その他不履行が生じた場合の利用者の唯一かつ排他的な救済は、本 **SLA** の契約条件に従いサービスクレジット（該当する場合）を受け取ることである。

## クレジットの請求および支払手続

サービスクレジットを受け取るには、[AWS サポートセンターでケースを作成する](#) ことにより、請求（リクエスト）を提出する必要がある。対象となるには、インシデント発生後、2 回目の請求期間の末日までに、以下の情報を添えてクレジットのリクエストを当社に提出しなければならない。

(i) 件名に「**SLA Credit Request (SLA クレジットリクエスト)**」という文言

(ii) 利用者がサービスクレジットを請求する対象の請求期間および **AWS** リージョン、請求期間における当該 **AWS** リージョンの月間稼働率、請求期間において当該 **AWS** リージョンの可用性が 100%未満である場合の 5 分間のインターバルごとの具体的な日時および可用性

(iii) 利用者が主張する停止のエラーを記録するリクエストログ（これらのログ内の機密情報または機微性の高い情報は削除するかアスタリスク (\*) で置き換えること）

かかるクレジットリクエストに関する月間稼働率を当社が確認し、サービスコミットメント未満であった場合、当社は、クレジットリクエストが行われた月の翌請求期間内に利用者にサービスクレジットを発行する。上記要件を満たすクレジットリクエストおよびその他の情報を提供しなかった場合、利用者はサービスクレジットを受け取る権利を失う。

## Keyspaces SLA 除外事項

i サービスコミットメントは、以下の場合（総称して「**Keyspaces SLA 除外事項**」）、いかなる **Keyspaces** の利用不可状態、停止もしくは終了、またはその他の **Keyspaces** のパフォーマンス上の問題にも適用されない。(i) 不可抗力事由または **Keyspaces** の責任分界点を超えるインターネットアクセスもしくは関連する問題を含む、当社の合理的支配の及ばない要因に起因する場合、(ii) 利用者の作為または不作為（プロビジョニングされた容量のスケーリング、セキュリティグループの構成ミス、アクセスポリシーの構成ミス、VPC 構成またはクレデンシャル設定の誤設定、暗号化キーの無効化または暗号化キーのアクセス不能化など）に起因する場合、(iii) **AWS** サイトの **Keyspaces** ドキュメントに記載されたガイドラインおよびベストプラクティスに従っていないことに起因する場合、(iv) 利用者の装置、ソフトウェアもしくはその他のテクノロジーに起因する場合、(v) 本件契約に従った、**Keyspaces** を利用する利用者の権利の停止または終了に起因する場合、(vi) テーブルのスケーラップに関連する活動に起因する場合。当社の月間稼働率の計算に明示的に使用される要因以外の要因が可用性に影響を与えている場合には、当社はその裁量において、かかる要因を考慮してサービスクレジットを発行することができる。

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

## 定義

- 「可用性」は、**Keyspaces** によってエラーが発生することなく処理され、プロビジョニングされた **Keyspaces** リソースのみに関連するリクエストの割合を、5分間のインターバルごとに計算する。所定の5分間のインターバルにリクエストを行わなかった場合、そのインターバルは100%利用可能であると想定される。
- マルチリージョンレプリケーション **SLA** 可用性の計算では、**AWS** リージョンにおける利用者のすべてのテーブルと、他の **AWS** リージョンにおける対応するレプリカテーブルに対するすべてのリクエストを考慮する。
- 標準 **SLA** 可用性の計算では、該当する **AWS** リージョンにおける利用者のすべての **Keyspaces** テーブルに対するすべてのリクエストを考慮する。
- 「エラー」とは、1xxx または 00xx のエラーコードが返されるリクエストをいう。
- 所定の **AWS** リージョンの「月間稼働率」は、月次請求期間におけるすべての5分間インターバルの可用性を平均して計算する。月間稼働率の測定では、**Keyspaces SLA** 除外事項に直接または間接的に起因するダウンタイムを除外する。
- 「リクエスト」とは、[Keyspaces Developer Guide](#) の「CQL language reference」（CQL 言語リファレンス）セクションで **Keyspaces** のサポート対象として具体的に記載されているタイプの利用者によるアクションをいう。
- 「サービスクレジット」とは、対象となるアカウントにクレジットされることのある、上記の規定により計算されたドル建てのクレジットをいう。
- 「標準 **SLA**」とは、該当する **AWS** リージョンにおける利用者の **Amazon Keyspaces** テーブルのいずれかがマルチリージョン **Keyspaces** の一部でない場合に、またはマルチリージョンレプリケーション **SLA** が別途適用されるが、シングル **AWS** リージョンにおいて可用性の問題が発生した際に利用者がフェイルオーバーに対して合理的な試行を行わない場合に適用されるサービスコミットメントをいう。